



世界中の有益な生命科学情報をだれにでも活用できる新時代へ 第三代 NextBio リリース開始

【NextBio の概要】

NextBio は 2005 年創業の世界で唯一の「総合ライフサイエンス情報検索システム」を開発している米国企業です。

NextBio 検索システムは、現在 Basic 版(無料サービス)、Professional 版(有料サービス)、Enterprise 版(有料サービス)の3種類の体系で SaaS(Software as a Service)を利用することができその利用アクセス数は 40 万アクセス/日に及んでいます。

Basic 版は主として学生を対象とするサービスで、NextBio は自社で開催する情報検索の講習会に参加する学生に対するスカラシップも実施しており、既に 200 人を超える学生が世界各地から講習に参加しています。

Professional 版は、個人を対象とするセキュリティーと検索機能を強化したサービスで、日本でも多くの研究者が既にこれを利用して研究成果を挙げています。

Enterprise 版は、企業を対象とする一種のカスタムサービスでユーザー固有のデータベースの構築、検索条件のカスタマイズができ、ユーザ数10名から対応が可能となります。

NextBio の特徴は、世界中で公開されている文献、学会発表、Clinical Trial 情報、化合物、薬物、毒性、薬理などの文字情報に加え、各種マイクロレイなどの遺伝子発現を簡単な操作で同時に一括検索できることにあります。さらに、研究者自身のマイクロレイデータを公知のデータと比較検証してプロファイリングを行ったり、各種キーワードを用いて有用なマイクロレイデータを検索、入手することができます。特に、公知のマイクロレイデータベースから簡単にそのオリジナルデータや Fold change の算出を終えたデータを利用しやすい Excel のファイルで入手する機能は多くの研究者に歓迎され広く利用されています。

また、複数のマイクロレイのデータ同士を直接比較検証できる機能は Advanced Search と呼ばれ、これまでにない新しいデータ解釈方法として高い評価を得ています。

今回の新 NextBio は、インターフェイスの一新だけでなく、多くの新機能が満載されています。

NextBio は、今秋に開発開始後2回目の大規模なインターフェイスのバージョンアップを行いますが、これに合わせて大幅なコンテンツや機能の追加も行われる予定です。SNP のデータや、シーケンスベースのデータ(次世代シーケンサーからのデータ、CNV、GWAS など)を検索、解析ができるよう機能が拡充されています。

国内のデータベースに関してはすでに GeMDBJ や CIBEX が検索可能ですが、Genome Net のアレイデータに関してもまもなく対応が完了する予定です。 caBIG やスタンフォードのアレイデータと合せ、他の方法では困難なデータの検索が NextBio を利用することにより可能になります。

NextBio に関するお問い合わせは。

セレスバイオサイエンス株式会社

〒335-0021 埼玉県戸田市新曽 1623-1 ツインコート北戸田 209

TEL 048-424-3146/FAX 048-424-3148

Email: sales@ceresbio.co.jp

HP <http://www.ceresbio.co.jp>